

ジャルロイタルケータリング環境方針

環境は、すべての生き物が地球上で命を育むために、守らなければならないものです。

ジャルロイタルケータリング (JRC) は、JAL グループの行動規範「社会への約束」にて掲げた「豊かな地球を次世代へ」を実現するため、本方針の下、推進体制を構築し、社会の一員として環境の保護に取り組むとともに、それを妨げる事象の未然防止に努めます。

<JAL グループ行動規範「社会への約束」 豊かな地球を次世代へ>

1. JAL グループは、航空運送事業が環境に大きな影響を与えているという事実と真摯に向き合い、この豊かな地球を次世代に引き継ぐ責任を果たすために、社員一人ひとりの意識を啓発し、あらゆる場面で環境の保全に取り組みます。

<法令の遵守>

2. JRC は、環境に関する法令や条例、国際条約等の規範、業界・自社の基準を遵守します。

<環境負荷低減>

3. JRC は、環境マネジメントシステムを構築し、以下の取り組みを確実に実行することで環境の負荷を低減していきます。
 - (1)気候変動への対応
 - ①航空機からの CO2 排出量を削減します。
 - ②地上施設、地上車両等からの CO2 排出量を削減します。
 - (2)限られた資源の有効利用
4R (Refuse/Reduce/Reuse/Recycle) の考えを徹底し、食品廃棄やプラスチック製品利用の削減等、事業のあらゆる場面で資源を有効に利用します。
 - (3)環境汚染の予防
 - ①廃棄物を削減し、環境汚染を予防します。
 - ②有害化学物質等を適切に管理し、環境汚染を予防します。
 - (4)騒音の低減
騒音の低減に努めます。
 - (5)生物多様性の保全
 - ①生物多様性の保全にむけ、航空運送事業に携わるものとしての責任を果たします。
 - ②事業活動による環境負荷を抑制し、生態系への影響を最小にします。

<環境技術の追求>

4. JRC は、環境の課題解決に向け、ステークホルダーとの連携を通じて環境に配慮した技術を追求します。

<意識啓発>

5. JRC は、環境への意識を啓発し向上することを目的として、すべての役員・社員に対して適切な教育・研修を行います。また、社会に向けた啓発活動を積極的に推進します。

<情報開示>

6. JRC は、自社の環境負荷や取組状況を誠実かつ積極的に開示し、ステークホルダーと対話します。

<継続的改善>

7. JRC は、自らの事業が環境に与える影響と環境保護の取り組みの成果を定期的に評価し、取り組みに反映することで継続的な改善に努めます。

2021年5月制定

ジャルロイヤルケータリング株式会社

代表取締役社長 永井 大志